

<横浜市議員 古川なおきの活動報告>

# 古川レポート

第2号(1999年10月1日)

発行:古川レポート編集部

横浜市旭区中希望が丘 252-50

TEL391-4000 FAX366-9700

E-mail :naoki@s-direct.com

〇9月15日神奈川新聞朝刊より

古川直季氏(自民・旭区) 一、現在の財政状況をどのようにみているか。また、中長期的な財政運営の基本的姿勢は。

一、土地開発公社を含めた先行土地取得の保有状況はどうか。民間売却も検討すべきではないか。

高秀秀信市長 一、市税収入は長引く景気低迷、税制改革等の影響でほぼ横ばいだ。福祉・保健政策の充実で扶助費等が増加するなど、厳しい財政状況にある。こうしたなか、京浜臨海部の再編整備、横浜港の整備、商店街の振興など経済基盤の強化による税源涵養(かんよう)、地方税財源の拡充に向けた国への働きかけなどに取り組む。

一、一九九八年度末で保有面積三百四十一畝、金額で七千七百四十七億円となっている。将来にわたり土地利用の有無を見極め、利用が見込まれない土地は他の公共的団体や民間への売却も検討する必要がある。



古川直季氏(自民・旭区)

## 横浜市会第二回定例会より 古川議員の一般質問特集

※なお、詳しい議事録については中央及び各区立図書館、市民情報センター(市庁舎1階)にて閲覧できます。



- その他の質問は次の通り(抜粋)。
- 一、介護保険制度の円滑な実施をどう行っていくか。
  - 二、学校飼育動物の教育効果をどう考えるか。
  - 三、景気回復に向けた市内中小企業への支援策と、ベンチャー企業の育成や起業化促進のための取組みをどう進めるか。
  - 四、行政の適切な市民サービスのあり方をどう考えるか。
  - 五、今後の財政運営について。
  - 六、市内南部に新設予定の県立養護学校の再整備について。
  - 七、小学校国際理解教室の推進と今後の英会話教育について。
  - 八、市街地の緑化対策について。
  - 九、ワールドカップサッカー決勝戦の成功に向け、どのように準備を進めるのか。

### 古川なおき議員10月の主な活動予定

- 1日~22日 決算特別第2委員会
- 8日・9日 日本青年会議所全国大会(山形)
- 10日 自民党若手議員で2002年マツコフ杯大会に出場!
- 7日・12日・19日 各種勉強会出席
- 16日 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会行事出席
- 17日 日本動物福祉協会横浜支部犬猫里親捜し
- 30日 市政報告会(13時より古川事務所にて)
- 31日 旭区制30周年記念式典・ふれあい祭り出席

### 朝の駅頭演説予定(10月)

- 12日・13日二俣川駅南口、18日・19日希望ヶ丘駅、
- 21日・22日二俣川駅北口、26日三ツ境駅

見かけたら  
お声を掛けて  
下さいね!

### 古川なおきプロフィール

昭和43年8月横浜生れ 31歳  
 県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業  
 横浜銀行・議員秘書を経て、  
 平成7年横浜市議初当選。  
 自民党横浜市議員団に所属

旭区サッカー  
協会顧問

高校同窓会・  
桜蔭会評議員

(社)日本動物福祉協会  
横浜支部支部長

古川なおきのメッセージ  
 ……一般質問を終えて……

今回の一般質問の内容を吟味する段階で、英語力をはかる試験において日本人は英語を外国語とする国連加盟国百八十九国のうち、百八十一番であり、またアジアでは北朝鮮と並び下から二位だったという記事を新聞で読み、ショックを受けました。私自身も英語は得意ではありませんが、世論で問題となつている今こそ、国際都市を標榜し、ワールドカップサッカーの決勝戦を開催する横浜市にあって、英会話教育の充実が緊急課題と感じ、本会議で取り上げました。

今月から介護保険の申請も始まり、景気・福祉・環境などマイナスにみえる問題も多い昨今、次世代を創造する子どもの生活・教育環境を整備することは、明るい未来を築く上で極めて重要だと考えます。

私は、二〇〇〇年に向け、広い視野をもって、夢を語り、また実現できる社会づくりに取組んでいきたいと思います。

編集部より〇今回の本会議には、十三名の支援者の方が傍聴して下さいました。ご多忙の中を、ありがとうございました(カメラを忘れて、すみませんでした)。なお今後は「ふれあい」紙面にて支援者の皆様の活動も紹介したいと思います。ヨロシク